



## お知らせ

## 風の吹くままに

### 賛美

「聴け われらの賛美を」

「私たちは、一つ」

「主の祈り」

「In the Secret」

「天の喜び」

「主は道を造られる」

「Amazing Grace」

### 賛美の御言葉 詩篇 27 篇 4 - 6 節 Psalm

一つのことを私は主に願った。それを私は求めている。  
私のいのちの日の限り、主の家に住む事を。主の麗しさに目を注ぎ、その宮で思いめぐらすために。私は、主の幕屋で喜びのいけにえを捧げ、主に歌い、ほめ歌を歌おう。

### 献金

フラ賛美

牧会祈祷

聖書朗読 ルカ福音書 8 章 22 節～26 節  
メッセージ 「嵐の中の信仰」 関真土牧師

賛美 「主イエス神の愛」

聖餐式

賛美 「O Praise The Name」

頌栄 主の祈り

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって一つとされ  
共に主を礼拝いたしましょう

- ✠ 本日の礼拝は、日英合同礼拝です。聖餐式があります。主の十字架を想い、心を備えましょう。
- ✠ 礼拝後にポトラックランチがあります。どうぞぜひ、ご参加ください。
- ✠ 会場にテーブルを出すなどの作業があります。お力のある方、お手伝いをお願いします。
- ✠ 礼拝後のスナックタイムのための、お菓子などのドナーションを受けつけています。家にあるお菓子など、お気軽に持ってきてください。
- ✠ 次週の礼拝（11月6日）においても、聖餐式が持たれます。オンラインで礼拝に参加される方は、事前に用意して備えましょう。
- ✠ 次週の礼拝後 12:30PM より、HCC ファミリーミーティングがあります。どなたでも是非ご参加ください
- ✠ 次週の礼拝メッセージ  
「詩篇 23 篇④ 杯は溢れている。」 関真土牧師
- ✠ オンラインでも献金をお捧げすることができます。



本日の礼拝は、日英合同礼拝です。合同礼拝が持たれるのは、約 15 年くらい振りだと思えます。その時は、ハワイ大学の講堂を借りて行いました。

これまで合同礼拝が持てなかった理由は、人数が会堂に収まらないのと、外部の施設を借りることの大変さがありました。しかしこの度は、コロナの影響によって両語部の礼拝参加人数が少ないということで合同礼拝が実現しました。今後、第五週目を合同礼拝にしたいと望んでいます。

よく、日本語部と英語部の一致ということが言われます。何も私たちは仲が悪いわけでは決してありません。しかし一つの教会として、もっと積極的に、何かもっと一緒にできたり、協力し合ったりできないかということは、常に考えられていることです。その中で大切なのは、私たちの一致は「御霊による一致」だということです。その御霊の一致が最も体験される場所は、なんと言っても「礼拝」です。教会の営みのすべては「礼拝」から生まれ、礼拝から始まり、礼拝に帰します。

今回の合同礼拝から、何か新しいことが始まるのではないかと期待が膨らみます。

関真土牧師



Sekishinji89@gmail.com

## 2022 年度聖句

あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。  
繰り返して言うが、喜びなさい。  
ピリピ人への手紙 4章4節

### スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



### 分かち合いのポイント

(1) 私たちは、信仰の根拠を、自分の経験、知識、感覚などに置いているのか、それとも神の御言葉に置いているでしょうか。あるいは、信仰の根拠が神の言葉から自分の何かに置き換わってしまうことがありますか。もしあるとすれば、それは、どんな時ですか。

(2) 嵐の舟の中で、眠っているイエスのお姿を想像してみてください。それに対して、一生懸命に舟を沈めないように動き回っている弟子たちの姿を想像してみてください。どんなことを思いますか。

(3) イエスは、不信仰者の、不信仰の叫びに応えて、起き上がって御業を行ってくださるお方です。ここで「不信仰」という言葉を使いましたが、実際には、イエスに叫び求めることこそ信仰です。改めて、信仰とは何か、ということを考えてみましょう。

## ルカの福音書 8章 22～26 節

ある日のことであった。イエスは弟子たちと一緒に舟に乗り、「湖の向こう岸へ渡ろう」と言われたので、弟子たちは舟を出した。舟で渡っている間に、イエスは眠り始められた。ところが突風が湖に吹きおろして来たので、彼らは水をかぶって危険になった。そこで弟子たちは近寄ってイエスを起こし、「先生、先生、私たちは死んでしまいます」と言った。イエスは起き上がり、風と荒波を叱りつけられた。すると静まり、凪になった。イエスは彼らに対して、「あなたがたの信仰はどこにあるのですか」と言われた。弟子たちは驚き恐れて互いに言った。「お命じになると、風や水までが従うとは、いったいこの方はどういう方なのだろうか。」

こうして彼らは、舟で、ガリラヤの反対側にあるゲラサ人の地に着いた。

# 週報

2022 月 1 0 月 30 日 Vol.23 No.44



HONOLULU CHRISTIAN CHURCH  
ホノルル キリスト教会

2207 OAHU AVENUE, HONOLULU, HI 96822

日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email : office@honoluluchristian.church

